

(7)
飲食品系

RH'-0008

0274

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

二〇總才三九三七号
昭和二十年九月十日

農林次官

殿

進駐軍食料品ニ関スル件

411001
聯合國軍隊ノ進駐受入ニ付ニハ諸般ノ準備ニ遺憾ナキヲ
期シ居ルコトト存候處食料品ニ関シテハ國內食糧事情ニ
鑑ミ進駐軍ニ於テ携行致候候モ供出特ニ蔬菜等ノ供
出ノ要求モ有之可ト候條其ノ餘ハ國內事情ニ付進駐軍
ノ諒解ヲ得ルト共ニ貴縣ノ於テ地方總監府並ニ終戰運
絡地方事務局ト打合セ原則トシテ現地調辦ノ方途ヲ謀

シ不可能ノ場合ニ於テハ本省ニ連絡處理相成度此段休命
及通牒候也

陸連第 百号

昭和二十年十月十四日

陸軍省

陸軍連絡委員會議長

特命全權公使

山路

章

外務省 河相達夫 殿

民需用食糧品ニ対スル要求取締ニ関スル件

當地已進駐聯合軍側ニ於テハ陸連第百号ヲ以テ申述
ノ民需用食糧品取締ニ関シ別添ノ如キ指令ヲ部内ニ奉
シ居ルニ付何等御考案迄報告申述ス

海軍

(送文)

第一二七歩兵聯隊第一大隊本部

一九四五年十一月十一日

(見書 第一九号)

民需用食糧品ノ件

一 當本部ニ於テハ當占領地ニ於ケル一切ノ軍人ニ依ル
民需用食糧品ノ取得ヲ取締リ且ツ統制ス
二 且下九州全土ニ亙ル愛意ス(キ)食糧不足ニ鑑ミ當
本部ヨリ別段ノ指令ヲ出サレシテハ民需用食糧品ニ
対スル一切ノ要求ハ之ヲ禁止ス
三 前記規定ニ違反セル旨ノ報告ヲ受ケタルトキハ直チニ
嚴重ナル懲戒処分ニ附セラルヘシ

コレガ中核ノ命ニ依リ第一二七歩兵聯隊司令部ハ一ノ大尉署名

海軍

發信用執務用			
主信	2	1	3
附甲			
附乙			
附丙			
附丁			
備考	P. 4201		

公 信 案	初稿軍部ハルニハ飲科所給地当看ハシテ大收再行食	本陣圖本目三百年九八軍經理部ハ野本全陸軍	名 件 先付送寫 本國軍ハハ無也ハハハ飲科所給地ハ件	名 人 信 受 專電局長	連主 普通 通令第三五四號 昭和 昭和廿年九月拾五日附 附屬	管主 終成連 昭和廿年九月十四日	文書課發送日 昭和廿年九月拾五日	文書課長	名 件 録 記	名 人 信 發 終成連	淨書	正校(原稿)	(淨書)
									外 務 省	記帳簿			

(日本標準規格 B5)

15 31

HEADQUARTERS
FIRST BATTALION, 127TH INFANTRY
APO 32.

11 Oct 45

MEMORANDUM
NUMBER..19)

CIVILIAN FOODSTUFFS

1. This Headquarters will regulate and control the procurement of Civilian Foodstuffs by all military personnel in this area of occupation.
2. Due to a very serious food shortage at this time throughout Kyushu, all requests for Civilian Foodstuffs are hereby prohibited until otherwise ordered by this Headquarters.
3. Reports of violations of the above provisions will result in prompt and severe disciplinary action.

By order of Lt. Col. FRASER:

FRANK C. MOORE JR
Capt., 127th Inf
Adjutant

OFFICIAL:

Signed
FRANK C. MOORE JR
Capt., 127th Inf
Adjutant

RH'-0008

0277

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

瓶詰ニテ供給シ得ル量ノ甚タ限ラレ居ル事情ヲ説明シ且空瓶
並輸送配給ノ困難ナル現状ヲ述ヘタル處空瓶ニ付テハ配給ニ當リ
交換ノコトトスヘク又各工場ヨリノ受渡シ所在部隊ヘノ輸送配給
ハ全部米軍ノ手ニテ行フヘキ旨述ヘタリ、又別ニ當座ノ接待用ト
シテ第一級「ウイスキー」若干ノ供給ヲ得タキ旨申述ヘタルニ付
テハ右至急御調査ノ上結果何分ノ義御回示相成度

外務省

RH'-0008

0280

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

與 課 長

二口食荷才七五号

昭和二年十月一日

農林省食品局長



終戰連絡事務局長官殿

聯合軍進駐ニ伴フ食料品配給ニ関スル件
首題ノ件ニ関シ九月十二日附儀普通ヲ九八号ヲ以テ依頼
有之候處別紙寫入通神奈川縣知事宛通牒設置候
條序了知相成度此段及回答候也

農 林 省

日本標準規格 B-4



RH'-0008

0281

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

二〇食局才七五号

昭和二十年十月一日

農林省食品局長

神奈川縣知事 殿

聯合軍進駐ニ伴フ食料品配給ニ関スル件

今般聯合國軍本土進駐ニ伴ヒ聯合軍將兵ニシテ箱根等ノ
遊覽地ニ赴ク者漸増致居候處右將兵用食料品ニ付テハ
終戰連絡中央事務局長官ヨリノ依頼モ有之貴縣ニ於
テ配給ヲ特ニ所配竟相成度此段及通牒候也

農 林 省

日本標準規格 B-4

(小葉糖)

RH'-0008

0282

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

發信用執務用		
主信	1	2
附甲		
附乙		
附丙		
附丁		
備考	p. 420	

總務部長
古内書記官
同電
新

公文書案	以外務省	名件	先付送寫	名人信受	管主	文書課發送日	昭和廿年拾月拾九日
		拜啓陳者十月七日附井口總務部長宛貴信ヲ 以テ輕井澤滞在米軍慰勞隊ニ付スル (輕井澤滞在米軍慰勞隊ニ麥酒配給方件)		外務省輕井澤事務所 大久保公使	普通機密 幸岡課長	昭和三十年十月十九日起草	淨書
		名件錄記	名人信發	第四部長	附屬		記帳濟

RH'-0008

0285

麦酒配給方ノ件ニ関シ御申越ノ趣了承右ハ
 早速横濱送委員會ニ連絡致置キタル處今般同
 委員會ヨリ本件麦酒ニ関シテハ輕井澤滞在部
 隊ヨリ直接横濱駐在米カ八軍司令部特殊
 事業部 (Special Service Office) 「ロイド」大尉 (Captain
 Lloyd) ニ必要數量ヲ申請セシムル様致ス旨回答
 趣旨ニ付テハ右ニ御了承上可然御取計相成
 此段及回答候 敬具

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B5)

拜啓陳者十月七日附井口總務部長宛貴信ヲ以テ輕井澤滞米軍慰
 勞休暇部隊ニ對スル麥酒配給方ノ件ニ關シ御申越ノ趣了承右ハ早
 速横濱委員會ニ連絡致置キタル處今般同委員會ヨリ本件麥酒ニ關
 シテハ輕井澤滞在部隊ヨリ直接横濱駐在米第八軍司令部特殊事業
 部 (Special Service Office) 「ロイド」大尉 (Captain Lloyd) ニ
 必要量ヲ申請セシムル様致度旨回答越シタルニ付テハ右ニ御了知
 ノ上可然御取計相成度此段及回答候 敬具

昭和二十年十月十九日
 終戦連絡中央事務局第四部長
 在輕井澤
 外務省事務所長 殿

外 務 省

RH'-0008

0286

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

電信寫

P4.20.1

番	六六〇五六
符	平
昭和二十年十二月十五日	時五分
連	連

静岡縣會計課長
 深澤 鑛 二
 (密柑、蜜路、買スル件)
 農業會ヲ通シ出荷セシ密柑一箱ノ單價折返シ通知サレ度一般取引ノ相場モ併セ通知請フ
 終戦連絡中央事務局
 第四部第三課長

P4.20.1

昭和二〇
 平 京 十二月二十八日一六〇〇
 本省 二十八日一六三二
 秋山事務局長
 第八三號 (重送連絡)
 (第六區へノ納入滞り代金ノ件)
 郵務局長へ
 本月六日農六重司令部ヨリ管下各郡採用密約十一萬六千「ブツセル」(此ノ代金二千萬圓)納入方ノ正式要求アリ該ニ之カ履行ノ手配ヲ進メ居ル處(案別別紙ス)右代金ハ貸信給付ノ一、適合第五五〇三ノ貸借ヨリ聯合軍團カ貸付スヘキモノナリヤ貸見主急御返請相成度
 同先方トノ交渉ノ都合モ有之貸見代金ヲ聯合軍團ニテ支払フ原形ハ「マツカイサー」司令部ト取置メラレタルモノナリヤ御高見アリ候(了)

外務省

記帳済

RH'-0008

0287

P42.01

昭和三〇 平 京都 十二月二十八日 一六二〇發 連四
本省 二千八百一六四〇着

元玉 總裁

次山 事務局長

第八五號(電話連絡)

(第六單へノ納入金付代金ノ付)

終裁連絡第四部長へ

在電第八三號ニ歸シ

第六單要求ニ基キ十二月、明年一月及二月ノ三ヶ月ニ亙リ毎月發
付大約三萬八千七百「ブツセル」納入スル事トナリタルカ下哨人
三井物産納人人交易會社ニテ一頁目二十五圓決工毎月所發資金七
百七十四萬圓見當ニシテ十二月分ニ付テハ此ニ對シテ四方圓ヨリ、順々
續中ニテ十二月分代金支拂ハ一月千一圓ト相成リ后ル處本件代
金當方ニテ支拂フヘキモノトセハ右支拂期ニ至ニ一般聯合會關係

外務省

トハ別ニ八百萬圓送万御手配相成度
尙右支拂ハ一頁目「ブツセル」ハ八頁目(荷造り費又百メ二十
五圓見當ナル處而實ノ現預ヨリシテ高キニ起キル旨會社及三井物
産ニ交渉シタルモ大抵ナルト急遽暴衝ノ為右單以下ニテハ引續
不可能イ由申后リ殊ニ當國ハ本納入ニ付テハ無事材料ノ旨申シ后
ルニ付隊々御座相成度申添フ (了)

電信寫

P.4.2.0.1

總 番 號	二五八
符 號	平
昭 和 廿 一 年 一 月 八 日 一 時	
分 連 四	

記帳済

京都地方事務局長
 (第六軍ニ納入ノ蜜柑ノ件)
 第四部長
 貴電第八五號ニ關シ
 給四ノ一普通(合第五五〇)號甲進メノ次第ハ食糧ニ付撤廢形式ニ依
 ラス單ニ供給斡旋方ヲ要求スル事例多キニ鑑ミ其際ニ於ケル應酬
 振リニ付指示シタルモノナリ

電信寫

P.4.2.0.1

之書

昭和二一 四八一 午 卯 戸 二月十三日 發
 本省 十三日 着 連五

記帳済

吉田總裁
 第四號 (警察無線)
 (外人用食肉供給ノ件)
 若林出張所長

第五部三課長へ
 往電第三號ニ關シ軍政部「モリノ」大尉ヨリノ申出モアリ何分
 ノ儀御同電請フ (了)
 配布先 文、電、次長、五部長、祕、5ノミ

外務省

電信寫

04201

總 番 号	一 二 四 二 八
符 号	平 昭 和 二 一 年 七 月 二 日 十 四 時 十 分
主 管 省	設 營 部 長

高知縣渉外部長

(進駐軍用麥酒配給に關する件)

治安課長宛貴電に關し

麥酒統制會社に問合せた處貴地に於ける麥酒の配給は専ら同社四國支社(松山市北持田町)で取り決め居る由故同支社と御折衝請

電信案

外務省

市北持田町(平)で取^決り^居る由故同
支社と御折衝を

絡四ノ一普通第一六二九號

昭和二十年十二月十四日

終戦連絡中央事務局第四部長

東京都経済局長殿

進駐米車ニ對スル食料品斡旋ニ關スル件

都内「ホテル」止宿ノ進駐米車將兵ニ對スル食料増配ニ關シテハ從來「ホテル」止宿米側ヨリノ申請ニ基キ富部ニ於テ貴方ニ對シ右食料斡旋方ヲ依頼シ來レル處今般米司令部ヨリ之等米人將兵ノ「ホテル」滞在者中公式ノモノハ原則トシテ米側ヨリ食料ノ配給アリテ其ノ他ハ全然個人關係ニ基クモノナルニ付日本政府トシテ特ニ給食スルノ必要全ク無キ旨申出有之タルニ付右側ヨリ借置

外務省

RH'-0008

0292

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

料韓粒方ヲ運搬シ来ルル処今般米司令部ヨリ之手
 米人將兵ノホリル滞在者中公式ノモハ余部ノ若側
 ヲリ食料ノ配給アリテ其他ハ全然個人關係ニ基クテ
 ナルニ付日本政府トシテ持テ食料韓粒ノ必要全ク無キ
 旨申出有之タレニ付右所管之而措置アリ度ニ
 右ノ同様帝國軍中ノ其内軍中其他ノ軍中亦
 五十室ハ日中政府ノ所管ニ在リテ正式命令ヲ受ルル
 正式命令ヲ受ルル者ハ其内軍中其他ノ軍中亦
 外支國ノ軍中亦同様に正式命令ヲ受ルル者ハ其内
 亦同様に正式命令ヲ受ルル者ハ其内軍中其他ノ軍中亦

公 信 案

外 務 省

韓粒ヲ運搬シ来ルルニ關係セラルル者ハ其内
 都民食糧事情其他ヲ所考量上可然
 配廉相成様致テ度ク右申進ス
 一當リテハ政府トシテ便宜ノ上ニ
 米ノ運搬ニ付テハ官務部同五ノ上食料幹旋ニ付
 此ノ一節配廉相成様

公 信 案

外 務 省

RH'-0008

0294

發信用		執務用	
主信	78	1	79
附	甲		
	乙		
屬	丙		
	丁		
備考	P 420		

子三郎七

公文書	文書課發送日	昭和廿一年三月廿三日	淨書	正校(原稿)	昭和廿一年三月廿三日	附屬	記帳齊
	管主	第四部 長	任主	第四部 長	昭和廿一年三月廿三日	附屬	課
名件	先付送寫	名人信受	名人信發	名件録記			
縣令軍部隊人公科品要求ニ関スル件		地方事務局及支隊長 各示知悉知申	中央事務局書記長				
縣令軍部隊人公科品要求ニ関スル件							
縣令軍部隊人公科品要求ニ関スル件							
縣令軍部隊人公科品要求ニ関スル件							
縣令軍部隊人公科品要求ニ関スル件							
縣令軍部隊人公科品要求ニ関スル件							
縣令軍部隊人公科品要求ニ関スル件							
縣令軍部隊人公科品要求ニ関スル件							

文書課長

新

正校(原稿)

昭和廿一年三月廿三日
課
記帳齊

19-12

各社様
一月十九日附
送付一書
届多
トス

地方部隊中公科品要求ニ関スル件
向テアリ最モ、且多ク、
事、例、
之、
附、
又、
拒、
其、

外務省

RH'-0008

0295

公 信 案

外 務 省

及別添品目表

女子号寫別添品目表

格田ノ公華國合券500号及附券
其添付付下

發信用執務用		主信		1	1	2
附屬		甲	1			1
		乙				
		丙				
		丁				
備考		P.4.2.0.1				

文書課發送日 昭和廿三年四月六日

文書課長

主 管 設 置 部 長

任 主 務 務 部 長

昭 和 廿 三 年 四 月 五 日 日 附 附 屬

第 四 五 九 號

昭 和 廿 三 年 四 月 五 日 日 附 附 屬

淨書

正校(原稿)

(淨書)

別紙

終 連 21.4.4 秘書課

記帳齋

名 件 先付送寫 名 人 信 受

名 件 錄 記 名 人 信 發

聯合軍部配入食糧手札の取付件

外務省

RH'-0008

0296

主信	發信用	執務用
附甲	/	/
附乙	/	/
附丙		
附丁		
備考	P. 42.0	

文書課發送日 昭和二十三年四月十七日	文書課長 [Signature]
主 管 改訂部長	主 任 [Signature]
受 信 廿次城 特初事	信 人 吉田 隆 哉
先付送寫	名 件 録 記
名 件 聯合軍部隊ノ公料品多ク由ニ付 本件向レシ 三月十九日附書付テ之ヲ分置居ノ次為可承 仍之月ニ托 日附格四ノ普通在野大ノ子 爲 別添之向レシ 送付ス	名 人 信 發 吉田 隆 哉
公 信 案 一	外 務 省

19-69

電信寫

上海の電報
持歸ることを
上海の電報
を以て
上海の電報
を以て
上海の電報
を以て

第一〇號
昭和二三 一〇六六 平 横須賀 二月十七日一六一七發 絡經
本 省 十八日〇六五〇着 太田事務局長

經濟部 長
第一〇號

（米軍用食糧品放出に關する件）
横須賀地方復員局は現在多量の米軍食糧品（かん詰その他）を保
有しおる處右は復員、引揚者用として復員船が上海より歸來時持
歸りたるもの残りなる由なるが當地米海軍軍政部より何等の指
令發せられありや否や當局に問合せ來れり（指合あり）
至急調査の上御回答を得たし
（丁）
配布先 文、電、次長、絡總、絡經各部長、絡秘書、絡總總、
絡經財、貿、商、産

外 務 省

RH'-0008

0297

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信寫

P4201

昭和二十二年二月二十六日 青森 二月二十六日 一三二〇發 絡設
本省 二七日 一五五〇着

第九號 吉田 總裁 丸山出張所長

(第八軍より農業會へ林檎發送に關する件)

第八軍より本縣農業會に發注せりと稱する林檎の件農業會では
予定せる林檎の處置に困りあるにつき至急農林省及び第八軍と連
絡しP.D又は社林省より正式注文書發給の有無を確かめ同電あり
たい。

第八軍係官はQ.M.オフィスのミスター。オウルスワユルゲン
(Mr. Wallischlagen) の由である。

配布先 文。電。絡設部長、絡秘書、絡總總、絡設總、業。經

(丁)

外務省

(分類 H.000.3)

電 信 案	電 送 第 5484 號	主 管 設 營 部 長	電 信 課 長
發 出 有 誤 に 就 て は 八 軍 と 連 絡 の 中 結 果	昭 和 二 十 二 年 三 月 三 日 發 送 時 分 5 時 20 分	任 務 課 長 主 業 務 課 長	發 電 係
農 林 省 よ り 正 式 注 文 書 發 給 の 事 実 無 	件 名 第 八 軍 よ り 農 業 會 へ 林 檎 發 送 に 關 す 件	施 青 森 終 連 出 張 所 長	3 26
貴 員 電 第 九 號 に 關 し	第 54 號	發 總 裁	昭 和 二 十 二 年 三 月 三 日 起 草
外 務 省	第 54 號	(至急)	記 帳 係 土 屋

電信寫

94201

昭和二二 一八七二 平、青森 四月一日 〇・八三三 發 絡設
 本省 二日 一四二五 着

吉田 總裁
 第一二號

(進駐軍用林檎輸入中止申請書翰寫送附方依頼)
 〇件

往信第一三號の件至急送附請う(了)
 配布先 文、電、絡設部長、絡設總、絡秘

丸山出張所長

外務省

電信寫

杉本 士 杉本

課長

昭和二二 一二五八 平 青森 二月二六日 一三二〇 發 絡設
 本省 二七日 一五〇〇 着

吉田 總裁
 九號

(第八軍より農業會へ林檎發送に關する件)
 第八軍より本縣農業會に發注せりと稱する林檎の件農業會では
 予定せる林檎の處置に困りあるにつき至急農林省及び第八軍と連
 絡し(了)又は林檎林省より正式注文書發給の有無を確かめ同電あり
 たい。

第八軍係官はMr. Wallischlagan の由である。(了)
 (Mr. Wallischlagan)の由である。

配布先 文、電、絡設部長、絡秘書、絡設總、絡設總、業、經

丸山出張所長

昭和廿二年貳月廿八日

外務省

RH'-0008

0299

電信寫

H1100
P.2302

總 番 號
八二七二
符 號
平
昭 和 二 二 年 四 月 五 日 一 時 一 〇 分
主 管 部 門
經 済 部

終 戦 運 給
青 森 出 張 所 長
第 一 一 号

經 済 部 長

(進駐軍用林檎輸入中止申請に関する件)
貴 備 第 一 三 号 の 件 三 月 十 九 日 附 終 戦 経 長 第 七 号 を も つ て 送 付 済

外 務 省

電信寫

H1100

昭 和 二 二 年 六 月 一 七 四 平 長 野 十 一 月 十 九 日 一 七 一 七 發 絡 設
本 省 二 十 日 九 三 九 着

芦 田 總 裁



長 野 縣 知 事

(進駐軍用納入林檎に関する件)

進駐軍納入林檎は嚴選せる優良品なる爲生産者の庭先渡「一貫匁」
(百六十円)は統制撤廢後の市況から適当と認められる價格であ
り既に生産者からは相当納入され居り納入期日迄に完納する様促
進中の次第であるから何分の御高配を請う。

配 布 先 又、電、次長、絡経、絡設部長、絡秘書、絡総総、
絡経総、絡食、絡労、絡設総、業、経

外 務 省

RH'-0008

0300

電信寫

H'1001

昭二二 六二三四 平 長野 一月二二日 一四〇〇 發 絡設
本省 二三日 一〇〇〇 着
長野縣經濟部長

(進駐軍納入林檎の生産者價格の件)

進駐軍納入林檎の生産者價格(一貫匁、一六〇円)は適當と認め
らるるにつき何分の御高配を請う (了)

配布先 文、電、次長、絡設部長、絡秘書、絡總々、絡設總、
絡

外務省

電信寫

H'1001

總番 二五三一六
符號 平 昭和二二年一月二六日 一〇時四〇分
主管 絡設

長野縣總務部渉外課長

設 營 部 長

(連合國軍用林檎の購入契約に関する件)

二十二日付貴信に關して

生産者價格買当り一六〇円を基礎として二十五日契約を締結し
たから右御了知ありたい。

記録不案

外務省

電信寫

H'1001

總 番 號	二七六三九
符 號	平
主 管 省	昭 和 十 二 年 十 二 月 十 三 日 十 時 四 十 分

青 森 縣 知 事

芦 田 總 裁

(林業納入に関する件)

(急急)
進駐軍用りんごの納入に關して青森りんご協会が實際に生産者に
支拂う買当り單價を内調の上紅玉、國光別に急急御同電ありたい

外務省

電信寫

H'1001

昭和二二 六七三四 平 青森 十二月二十七日一、三〇 始 絡 設
二十八日一、〇一 着

芦 田 總 裁

青森縣知事

(進駐軍用林業納入に関する件)

進駐軍用林業納入に關して青森縣林業協会が實際に生産者に支
拂う買当り單價は紅玉二〇八円三四銭、國光二七〇円八四銭に決
定しあり

配布先 文、電、絡設部長、絡秘書、絡總裁、絡設總、業、註

外務省

電信寫

H'1,00,1

昭和二三 九二 平 青森 一月 九日 一三二〇 發 給設
本省 一〇日 一二五 看

芦田 總 裁 青森縣 知 事

(りんご納入に関する件)

進駐軍用納入林檎の貴電單價は調査の結果適正と認む。

了

配布先 文、電、給設部長、給秘書、給総務、給設総、官、給

外務省

電信寫

H'1,00,1

總 番 號 一〇六
符 號 平 昭和三三年一月八日 一五時三〇分
主 管 給設

青森縣知事

芦田 總 裁

(りんご納入に関する件)

進駐軍用りんご納入に関して貴電の單價は生産者が出荷組合等に卸す一般價格に比較して適正であるかどうか判定の上御回電ありたい

外務省

H'10.0.1



農林省
提

中山地 靖之
中條氏
電話號碼 (97) 二二七〇
四〇〇〇

連絡調整
中央事務局
23.9.8

係書
3203
記帳簿

二三總局第三六八二號

昭和二十三年八月三十一日

農林省 總務局

連絡調整中央事務局第二部長 殿



進駐軍用として國內産りんご納入の件
標記の件に關し連合軍最高司令部に對し左記事項連絡方取計らいたい。

進駐軍用りんごに關しては、國內りんごに對するコドリノモス虫害防除の目的を以て一九四六年九月一六日附 (C.L.O. No. 4907(EN)) 必要な措置を依頼し、之に對し一九四七年二月一九日附 (SCAPIN / 5332) 覺書に接したのであるが我國のりんご裁 上今後共コドリノモス虫害の防除

農林省

は必要なことであるので右措置は本年も引續き繼續せられたい。尙右の場合進駐軍において必要とされる數量のりんごについては日本政府において責任をもつて納入する様取計らいます。

参考

りんご生産數量調

	全國合計	青森縣	長野縣	備考
昭和二十年	一七二二七	四八七七	三六八九	農林統計
昭和二十一年	二四一八一	一五二三〇	四八二八	同
昭和二十二年	四三、四〇三	三四六〇八	六〇〇〇	推定
昭和二十三年		六三、四〇〇	一三、〇〇〇	作況予想 縣外出荷 長野縣は 數量は

(安售合納)

RH'-0008

0305

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

國立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

昭和二十五年		六八〇〇〇	一五〇〇〇	關本出積 野田出積 野田出積 野田出積 野田出積
昭和二十二年	五八四〇三	三六六〇八	六〇〇〇〇	野田出積
昭和二十一年	二四一八一	一五二四〇	四八二六	同
昭和二十年	一五二二五	四八四四	三六八六	農林出積
全組合積		青森總	野田總	野田總

農林省
農林出積

昭和二十年の農林出積は、前年比で増加した。これは、戦時体制下の需要増大によるものである。特に、戦時体制下の需要増大によるものである。特に、戦時体制下の需要増大によるものである。特に、戦時体制下の需要増大によるものである。

農林省

戦時体制下の農林出積は、前年比で増加した。これは、戦時体制下の需要増大によるものである。特に、戦時体制下の需要増大によるものである。特に、戦時体制下の需要増大によるものである。特に、戦時体制下の需要増大によるものである。

農林省中央事務局長二階堂 謹

Y. YAMACHI
NATIONAL FRUITS GROWERS ASSOCIATION
No. 6, TCHOME, YOKOHAMA,
SHINJUKU-KU, TOKYO.
TEL. YOKOHAMA (37)
2410, 1704.

農林省中央事務局長二階堂 謹
昭和二十三年九月八日
連絡調整
中央事務局
23.9.8
記録簿
係
3203

RH'-0008

0306

TO: NATURAL RESOURCES SECTION
GENERAL HEADQUARTERS OF THE SUPREME
COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS.

FROM: Ministry of Agriculture and Forestry.

SUBJECT: Supply of Indigenous Apples used by
the personnel of Occupation Forces.

14 September, 1948.

In regard to supply of apples to occupation personnel
in Japan.

We submitted an application on Sept. 16, 1946 through
CIO (No. 4807-EA) requesting the necessary measures to be
taken for controlling the codling moth detrimental to the apple
growing in Japan. In reponse to our request, we received the
favourable Memorandum, SCAPIN 1532, dated Feb. 19, 1947.

From the standpoint of apple-growing in Japan, it is of
imperative necessity to continue to control codling moth in
the future. In connection with this, we are desirous of con-
tinuing to supply the Occupation Forces with the indigenous
apples. Therefore you are respectfully requested to discon-
tinue the importation of apples in this year. We hereby declare
on the honor of the Japanese Government that the required quan-
tities of apples consumed by the personnel of the Occupation
Forces in Japan will be supplied adequately without fail.

As reference, we show the apple-production in Japan as
follows.

Production of Apples in Japan
(in 1,000 kan)

Year	Total yearly output in Japan	Aomori Prefecture	Nagano Prefecture
1945 (1)	17,227	4,877	3,689
1946 (2)	24,181	15,230	4,828
1947 (3)	43,403	34,608	6,000
1948 (4)		62,400	12,000

Remarks:

- (1), (2) Source: Statistics of Ministry of Agriculture
and Forestry.
- (3) Estimated figures.
- (4) Figures based on the crop condition forecasting,
and the Figures of Nagano Prefecture indicate
the quantities estimated to be shipped to other
prefectures.

FOR THE MINISTER:

M. Hirakawa
M. Hirakawa
Director of the General
Affairs Bureau.

TO: GENERAL HEADQUARTERS OF THE SUPREME
COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS.

FROM: Ministry of Agriculture and Forestry.

SUBJECT: Supply of Indigenous Apples used by
the Personnel of Occupation Forces.

16 September, 1948

On Sept. 16, 1946, we submitted an application through
CIO (No. 4807-EA) requesting the necessary measures to be
taken for controlling the codling moth detrimental to the
indigenous apples consumed by the personnel of the Occupation
Forces in Japan. In reponse to our request, we received the
favourable Memorandum, SCAPIN 1532, dated Feb. 19, 1947.

From the standpoint of apple-growing in Japan, it is of
imperative necessity to continue to control codling moth in
the future. In connection with this, we are desirous of con-
tinuing to supply the Occupation Forces with the indigenous
apples. Therefore you are respectfully requested to discon-
tinue the importation of apples in this year. We hereby declare
on the honor of the Japanese Government that the required quan-
tities of apples consumed by the personnel of the Occupation
Forces in Japan will be supplied adequately without fail.

As reference, we show the apple-production in Japan
as follows.

Production of Apples in Japan
(in 1,000 kan)

Year	Total yearly output in Japan	Aomori Prefecture	Nagano Prefecture
1945 (1)	17,227	4,877	3,689
1946 (2)	24,181	15,230	4,828
1947 (3)	43,403	34,608	6,000
1948 (4)		62,400	12,000

Remarks:

- (1), (2) Source: Statistics of Ministry of Agriculture
and Forestry.
- (3) Estimated figures.
- (4) Figures based on the crop condition forecasting,
and the Figures of Nagano Prefecture indicate
the quantities estimated to be shipped to other
prefectures.

FOR THE MINISTER:

S. Katayanagi

S. Katayanagi

Vice-Minister of Agricul-
ture and Forestry.

RH'-0008

0307

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

TO: GENERAL HEADQUARTERS OF THE SUPREME
COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS

FROM: Ministry of Agriculture and Forestry.

SUBJECT: Supply of Indigenous Apples used by
the Personnel of Occupation Forces.

16 September, 1948

On Sept. 16, 1946, we submitted an application through
CIO (No. 4807-EA) requesting the necessary measures to be
taken for controlling the codling moth detrimental to the
indigenous apples consumed by the personnel of the Occupation
Forces in Japan. In reponse to our request, we received the
favourable Memorandum, SCAPIN 1532, dated Feb. 19, 1947.

From the standpoint of apple-growing in Japan, it is of
imperative necessity to continue to control codling moth in
the future. In connection with this, we are desirous of con-
tinuing to supply the Occupation Forces with the indigenous
apples. Therefore your are respectfully requested to discon-
tinue the importation of apples in this year. We hereby declare
on the honor of the Japanese Government that the required quan-
tities of apples consumed by the personnel of the Occupation
Forces in Japan will be supplied adequately without fail.

As reference, we show the apple-production in Japan
as follows.

Production of Apples in Japan
(in 1,000 kan)

Year	Total yearly output in Japan	Aomori Prefecture	Nagano Prefecture
1945 (1)	17,227	4,877	3,689
1946 (2)	24,181	15,230	4,828
1947 (3)	43,403	34,608	6,000
1948 (4)		62,400	12,000

Remarks:

- (1),(2) Source: Statistics of Ministry of Agriculture
and Forestry.
(3) Estimated figures.
(4) Figures based on the crop condition forecasting,
and the figures of Nagano Prefecture indicate
the quantities estimated to be shipped to other
prefectures.

FOR THE MINISTER:

S. Katayanagi

S. Katayanagi

Vice-Minister of Agricul-
ture and Forestry.

TO: GENERAL HEADQUARTERS OF THE SUPREME
COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS

FROM: Ministry of Agriculture and Forestry.

SUBJECT: Supply of Indigenous Apples used by
the Personnel of Occupation Forces.

16 September, 1948

On Sept. 16, 1946, we submitted an application through
CIO (No. 4807-EA) requesting the necessary measures to be
taken for controlling the codling moth detrimental to the
indigenous apples consumed by the personnel of the Occupation
Forces in Japan. In reponse to our request, we received the
favourable Memorandum, SCAPIN 1532, dated Feb. 19, 1947.

From the standpoint of apple-growing in Japan, it is of
imperative necessity to continue to control codling moth in
the future. In connection with this, we are desirous of con-
tinuing to supply the Occupation Forces with the indigenous
apples. Therefore your are respectfully requested to discon-
tinue the importation of apples in this year. We hereby declare
on the honor of the Japanese Government that the required quan-
tities of apples consumed by the personnel of the Occupation
Forces in Japan will be supplied adequately without fail.

As reference, we show the apple-production in Japan
as follows.

Production of Apples in Japan
(in 1,000 kan)

Year	Total yearly output in Japan	Aomori Prefecture	Nagano Prefecture
1945 (1)	17,227	4,877	3,689
1946 (2)	24,181	15,230	4,828
1947 (3)	43,403	34,608	6,000
1948 (4)		62,400	12,000

Remarks:

- (1),(2) Source: Statistics of Ministry of Agriculture
and Forestry.
(3) Estimated figures.
(4) Figures based on the crop condition forecasting,
and the figures of Nagano Prefecture indicate
the quantities estimated to be shipped to other
prefectures.

FOR THE MINISTER:

S. Katayanagi

S. Katayanagi

Vice-Minister of Agricul-
ture and Forestry.

RH'-0008

0308

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

發信用執務用		主信		附甲		附乙		附丙		附丁		備考	
												H' 10, 0, 1	
公 信 案	四三二QM(SCAPIN-1532)	一、一九四七年二月十九日貴司令部見言AG	逕駐軍用とし國又産リニ納入の件	先付送寫	名人信受	C L C O 第 三 四 二 號	昭 和 年 月 日 附 屬	主 任 政 務 課 長 清 島	昭 和 廿 參 年 九 月 拾 六 日	文 書 課 發 送 日	文 書 課 長	淨 書	正 校 (原 稿) (淨 書)
				名 件 錄 記	名 人 信 發								
外 務 省	占領軍使用				GH H Q								

TO: GENERAL HEADQUARTERS OF THE SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS

FROM: Ministry of Agriculture and Forestry.

SUBJECT: Supply of Indigenous Apples used by the Personnel of Occupation Forces.

16 September, 1948

On Sept. 16, 1946, we submitted an application through CLO (No. 4807-EA) requesting the necessary measures to be taken for controlling the codling moth detrimental to the indigenous apples consumed by the personnel of the Occupation Forces in Japan. In reponse to our request, we received the favourable Memorandum, SCAPIN 1532, dated Feb. 19, 1947.

From the standpoint of apple-growing in Japan, it is of imperative necessity to continue to control codling moth in the future. In connection with this, we are desirous of continuing to supply the Occupation Forces with the indigenous apples. Therefore you are respectfully requested to discontinue the importation of apples in this year. We hereby declare on the honor of the Japanese Government that the required quantities of apples consumed by the personnel of the Occupation Forces in Japan will be supplied adequately without fail.

As reference, we show the apple-production in Japan as follows.

Year	Total yearly output in Japan	Aomori Prefecture	Nagano Prefecture
1945 (1)	17,227	4,877	3,689
1946 (2)	24,181	15,230	4,828
1947 (3)	43,403	34,608	6,000
1948 (4)		62,400	12,000

Remarks:
 (1),(2) Source: Statistics of Ministry of Agriculture and Forestry.
 (3) Estimated figures.
 (4) Figures based on the crop condition forecasting, and the Figures of Nagano Prefecture indicate the quantities estimated to be shipped to other prefectures.

FOR THE MINISTER: *S. Katayanagi*
 S. Katayanagi
 Vice-Minister of Agriculture and Forestry.

RH'-0008

0309

TO: GENERAL HEADQUARTERS OF THE SUPREME
COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS.

FROM: Central Liaison and Coordination Office, Tokyo.
(Attn: Mr. Boulware, Agricultural Division, ESS.)

SUBJECT: Supply of Indigenous Apples used by the personnel
of Occupation Forces ^{Personnel Consumed}

C.L.C.O. No. 2243 (2P) 16 14 September 1948

主 管
第一 部 連 絡 課 長

1. Reference: SCAP Memorandum AG 432(19 Feb. 47) QM
(SCAPIN-1532) dated 19 February 1947, subject:
"Application for Discontinuance of Importation of
Apples for consumption by Occupation Forces".
2. Transmitted herewith is the application of the
Ministry of Agricultural and Forestry on the
above subject.
3. It would be appreciated if favorable consideration ^{were}
be given to this application by the General Headquarters,
Supreme Commander for the Allied Powers.

For the Director-General:

Enclosure: An Application as stated above, ^{in triplicate}.

As mentioned above (in triplicate)

公 信 箋

外 務 省

リンゴの輸入中止申請に關する件、参照
ニ本件に關し、今般農林省より別紙の
通り申請書が送付す。
可然の配慮相成る。

(別紙申請書三丁)

TO : GENERAL HEADQUARTERS OF THE SUPREME COMMANDER
FOR THE ALLIED POWERS.
(Attn: Mr. Boulware, Agricultural Division, ESS)

FROM : Central Liaison and Coordination Office, Tokyo.

SUBJECT : Supply of Indigenous Apples Consumed by Occupation
Forces Personnel.

C.L.C.O. No. 3243(2P)

16 September 1948

1. Reference: SCAP Memorandum AG 432(19 Feb 47)QM (SCAFIN-1532) subject: "Application for Discontinuance of Importation of Apples for Consumption by Occupation Forces."
2. Transmitted herewith is the application of the Ministry of Agriculture and Forestry on the above subject.
3. It would be appreciated if favorable consideration were given to this application by the General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers.

FOR THE DIRECTOR-GENERAL:

(K. Yoshida)
Chief of Liaison Section,
Central Liaison and
Coordination Office.

Enclosure: As mentioned above (in triplicate).

TO : GENERAL HEADQUARTERS OF THE SUPREME COMMANDER
FOR THE ALLIED POWERS.
(Attn: Mr. Boulware, Agricultural Division, ESS)

FROM : Central Liaison and Coordination Office, Tokyo.

SUBJECT : Supply of Indigenous Apples Consumed by Occupation
Forces Personnel.

C.L.C.O. No. 3243(2P)

16 September 1948

1. Reference: SCAP Memorandum AG 432(19 Feb 47)QM (SCAFIN-1532) subject: "Application for Discontinuance of Importation of Apples for Consumption by Occupation Forces."
2. Transmitted herewith is the application of the Ministry of Agriculture and Forestry on the above subject.
3. It would be appreciated if favorable consideration were given to this application by the General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers.

FOR THE DIRECTOR-GENERAL:

(K. Yoshida)
Chief of Liaison Section,
Central Liaison and
Coordination Office.

Enclosure: As mentioned above (in triplicate).

RH'-0008

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

外務省

で中央で話合ふこととなり、家族が個々に購
入する程度なり地方的に実情に即してやつ
て行くこととなり、
先般厚生局から公衆衛生福祉局のサウナ
氏の談を傳えてきたが、別に甚事と云ふ程
のものなく、既に冷蔵庫の取扱と店頭
の施設とかと二三語を述べ過ぎない。

外務省

本二十一日水産庁生産部統制課に照会され、
処在の通りである。
總司令部、第八軍司令部より未だ何等連絡
もなく、サウナ等の入手しては、ソノ次第である
から、措四五等も全然に所屬しては、ない。既に措
置通り、業者又は進駐軍家族が買取り、
居り、或は手筋の業者から、代金決済の二方法
に、その間合おせがあるが、水産庁としては、何と
も回答出来ない実情である。将来軍自体が
大量に消費するようになれば、集荷の關係

(領軍事務)

備見の次第に
連絡中

△
榮護長 野山

占領軍關係者の日本水産物
消費の状況
了木

京都連湖
河野氏元
要込

水産庁
連絡

OS S
本件
あり
より
あり

(京連)第三〇四号 十一月五日

公衛生課長 マーゲンス少佐

進駐軍之り高つて販賣はつては曲原林省と連絡
加とられてる。

本件はつて神宮では十一高店、大阪では十六高店
から許可申請加あつた。(これは高店、神宮で
ある) 山費はOS Sを通じて高店、神宮、大阪
かSCAPから更に通知加あつた。はスワゴと
つてはソレをソレになつてる。

(パイン)大阪より本件はつては軍團、高店、大阪の
命令加東海北陸及び近畿ハ分せり川調査加進
められてる。本件加実施される迄はソレもソレ
地帯と経なけり川はなつてぬか、ソレがソレ一設法と
なり)

外務省

4250
4251
4252
4253

進駐軍々人の日本食糧(水産物)
購入許可件 九・一三

本件はつて別添英文毎日(九月十三日)ハ川
近畿連湖、上原氏より昭会加あつた。近
産省及水産庁側ハ確められた。近
一、通産省(通商水産課)ハ水産庁(生産
部統制課)ハ本件はつては高店、神宮、大阪
ハ水産庁より軍団方面之間合せり上結果と
連絡なり

外務省

RH'-0008

0313

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

GENERAL HEADQUARTERS
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS

APC 500

CIRCULAR

No.20

6 September 1949

CONSUMPTION OF JAPANESE FOOD PRODUCTS

1. a. Rescission. Circular 11, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied powers, 26 April 1948.

b. References.

- (1) Army Regulations 40-205, 31 December 1942 as amended.
- (2) Technical Manual 10-215, 3 October 1944.
- (3) Technical Manual 10-405, August 1946.
- (4) Technical Manual 10-412, August 1946.
- (5) Technical Bulletin QM 31, December 1944.
- (6) Technical Bulletin MED 226, 28 June 1947.

2. Persons Subject to Circular. All persons in Japan (including officers' clubs, non-commissioned officers' clubs, service clubs, and other analogous establishments) on official business who are on duty with, attached to, or associated with governments, or agencies thereof (other than the Japanese government), who are accredited to, or affiliated with the Supreme Commander for the Allied powers, including the dependents of such persons, are subject to the provisions of this circular and are hereinafter referred to as "Allied personnel."

3. The consumption of Japanese food commodities is prohibited except for those specific items which have been approved by the Supreme Commander for the Allied Powers and are sold through authorized outlets such as commissaries, post exchanges, overseas supply stores, or specifically designated Japanese outlets, those specifically designated and authorized outlets handling indigenous Japanese food products will be authorized to display the following notice: "Every effort has been made to assure that the indigenous food products for sale in this store are of wholesome quality; however, they are not United States Government inspected." Unless the above notice is displayed any purchase by Allied personnel is unauthorized. Purchases made in authorized Japanese outlets will be with yen procured from authorized sources only.

4. Allied personnel who are subsisted at Army, Navy, Air Force, or similar messes or who are authorized to purchase from Allied commissaries or other authorized sources are prohibited from pro-

curing or serving Japanese food commodities (other than those referred to in paragraph 3) either individually or through as organization by purchase or by barter. The above restriction does not apply to foreign nationals employed by the occupation forces who are authorized to obtain certain meals from Allied sources, nor does it apply to Allied personnel married to Japanese nationals, when such persons are not authorized to procure the necessary food commodities from Allied supply sources.

5. The procuring, processing, storage, transportation, handling, and sale of seafood products will be in accordance with the standards outlined in Inclosures 2 to 8, inclusive.

6. Nothing in this circular shall be construed as prohibiting consumption of Japanese food by Allied personnel when they are bona fide one-meal guests in Japanese homes.
AG 430 (12 Apr 48) GA

BY COMMAND OF GENERAL MACARTHUR:

EDWARD M. ALMOND,
Major General, General Staff Corps,
Chief of Staff.

R. M. LEVY
Colonel, AGE,
Adjutant General.

9 Incls

1. Types of Indigenous Seafood Products Authorized for procurement, sale and Consumption by Allied Personnel
2. Standards for Manufacturing of Canned or Processed Seafood Products.
3. Standards for Fishing Boats.
4. Standards for Cold Storage Plants.
5. Standards for Transportation via Railway.
6. Standards for Transportation via Motor Vehicle.
7. Standards for Outlet Stores for Sale to Allied Personnel.
8. Standards for Purchase of Canned Seafood.
9. Organoleptic Tests for Spoilage of Seafood Products to be Applied by the Authorized Outlet Personnel and the Final Purchaser

RH'-0008

0314

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

TYPES OF INDIGENOUS SEAFOOD PRODUCTS AUTHORIZED FOR
PROCUREMENT, SALE AND CONSUMPTION BY ALLIED PERSONNEL

3

1. The following types and species of indigenous, fresh, frozen, and canned seafood products, if processed in accordance with standards as to condition and sanitation established by inclosures 2 through 7 inclusive, are approved for procurement, sale, and consumption by allied personnel.

Fresh, frozen seafood

Tuna (Blue fin, Albacore)
Swordfish
Mackerel (small-horse)
Halibut
Codfish
Sea Bream
Foglegs
Crab
Lobster To be sold alive when fresh
Shrimp and prawns

processed Seafoods

Smoked Salmon
Canned Tuna
Canned Mackerel
Canned Salmon
Canned Sardines
Canned Crabmeat

The above list is subject to change,

Inclosure 1

STANDARDS FOR OUTLET STORES FOR SALE TO ALLIED PERSONNEL

The following standards are applicable in all Japanese outlets where seafood is authorized to be sold to Allied personnel:

a. Refrigeration units must be adequate for the storage of fresh and frozen seafood. When frozen seafood is held for sale, the freeze box must be capable of maintaining a temperature sufficiently low to prevent defrosting or thawing from taking place. Chilling units must be glass enclosed and capable of maintaining a temperature not lower than 32 F.

b. Finely crushed ice must be used as a base for displaying seafood. The ice will be from approved sources, clean and changed daily.

c. The cutting or chopping block must be of hard wood. It will be swabbed after each handling of a sale and scraped at the end of each day and bedded in dry salt.

d. The wrapping table will be kept clean at all times.

e. Wrapping paper will be procured from approved sources, moisture-proof, and retained in dust-proof cabinet until used.

f. Clerks must undergo medical examinations monthly and practice personal hygiene measures daily.

g. Handling of seafood by other than clerks is strictly forbidden.

h. Every effort will be made to control insects and vermin.

i. Clean-up cloths will be clean and washed daily.

j. Aprons and caps must be worn by the clerks while on duty.

k. The following notice will be prominently displayed in those outlets so authorized. "Every effort has been made to assure that the indigenous food products for sale in this store are of wholesome quality however, they are not United States Government inspected."

RH'-0008

0315

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

HEADQUARTERS EIGHTH ARMY
UNITED STATES ARMY
Office of the Commanding General

Cir 71

CIRCULAR
NUMBER 71

30 September 1949

<u>Section</u>	<u>Subject</u>	<u>Page number</u>
I	Consumption of Japanese Food Products.	
II	Boards of Officers to Investigate Discrepancies in Branch Exchange Accounts.	

Section I - Consumption of Japanese Food Products

1. References.

- a. Ar 40 - 205
- b. TM 10 - 205
- c. TM 10 - 405
- d. TM 10 - 412
- e. TB QM 31
- f. TB MED 226
- g. Circular 20, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 6 September 1949, subject: "consumption of Japanese Food Products, as amended.

2. General.

Subject to the provisions of reference lg, authority is granted for the procurement, sale and consumption by occupation force personnel of indigenous sea-food obtained from approved sources.

3. Sources.

A list of approved sources for indigenous seafoods will be published in the Weekly Directive, this headquarters, from time to time, to include firms by name location and types of seafood such firms are authorized to sell to approved outlets.

4. Distribution Points.

Initially, distribution and inspection points for seafood are established as follows:

- a. Hokkaido.
 - (1) Nemuro.
 - (2) Hanasaki.
 - (3) Kushiro.
 - (4) Otaru
 - (a) Ishinomaki
 - (b) Shiogama
- b.
 - (1) Tokyo
 - (2) Yokohama
 - (3) Yaizu (Shizuoka)
 - (4) Kobe.
 - (5) Shimonoseki

5. Outlets.

- a. Occupation force agencies authorized to sell approved indigenous seafood are:
 - (1) Commissaries.
 - (2) Post Exchanges.

The following non-occupation force agencies, upon inspection and approval by area commanders indicated in subparagraph 6a: are authorized to sell approved indigenous seafood to occupation force personnel:

- (1) Overseas Sales Stores.
- (2) Export Bazzars.
- (3) Specifically designated Japanese retail outlets.

Lists of such authorized retail vendors will be published by area commanders concerned.

6. Inspections.

- a. Within their respective area, corps, division and other unit commanders with a veterinarian on their staff, will conduct inspections and approve sources, processors, distributing points, and retail outlets, within the limitations of reference lg, of indigenous seafood procured for sale to and consumption by occupation force personnel.

- b. Overseas Sales Stores, Export Bazzars, and Japanese outlets desiring authority to sell indigenous seafood to occupation force personnel will make application to the appropriate area commander (subparagraph 6a). If upon inspection it is found that the applicant's place of business meets the requirements of the pertinent inclosure of reference lg, authority for sale of indigenous seafood to occupation force personnel will be granted subject to the maintenance of proper

RH'-0008

0316

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

sanitary conditions by the applicant. Responsible commanders will maintain continuing inspections to assure proper sanitary conditions. A notice stating: "Every effort has been made to assure that the indigenous food products for sale in this store are of wholesome quality: however, they are not United States Government inspected", will be provided to and displayed by each approved vendor.

c. Commanders indicated in subparagraph 6a will keep this headquarters informed of sources, distributors, and processors that meet the sanitary requirements of the various inclosures to reference lg and other appropriate publications.

d. With the approval of the Commander-in-Chief, Far East, the provisions of this paragraph will be administered for the Tokyo Metropolitan Area by the Commanding General, Headquarters and Service Group.

7. Procurement.

a. The Quartermaster, this headquarters, is responsible for the procurement of indigenous seafood for issue or resale through commissaries.

b. The Army Central Exchange Officer is responsible for procurement through Central purchasing officer, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, of like items for resale through post exchanges.

c. Proprietors of export bazaars, overseas stores, and approved Japanese outlets will procure indigenous seafood through channels available to them from authorized sources as determined under subparagraph 6a.

d. Commissaries and/or post exchanges will obtain prior approval from the Quartermaster, this headquarters, or Army Central Exchange Officer, as appropriate, for local procurement of fresh and live seafood (i.e., fresh crab, lobsters, shrimp and prawns) for issue or resale (AGG 430)

Section 11 - Boards of Officers to Investigate Discrepancies in Branch Exchange Accounts

1. Reference.

Paragraph 30, AR 210 - 65

2. Boards of officers to investigate discrepancies defined in the reference, occurring in accounts of Eighth Army Central Exchange installations will be appointed as follows:

a. By regimental or similar unit commanders for branch exchanges of battalion or similar units under their control.

b. By regimental or similar unit commanders for branch exchanges

b. By division commanders for branch exchanges of division, regiment or similar units under their control.

c. By corps commanders for branch exchanges under direct corps control.

d. By appropriate corps or division commanders for branch exchanges operated at civil Affairs or other isolated units under their control.

e. By this headquarters for all other installations.

3. In cases of discrepancies of \$ 1,000 or more, where a board of officers is required, the services of a qualified accountant will be utilized. Eighth Army Central Exchange may be requested to provide an accountant if none is available locally. (AFES 331.3)

BY COMMAND OF LIEUTENANT GENERAL WALKER:

OFFICIAL
J.W. DONNELL
Colonel, AGD
Adjutant General

WILLIAM F. DEAN
MAJOR General, GSC
Chief of Staff

H' 1.0.0.1

京連第二三五号
昭和二十四年十月二十一日

京都連絡調整事務局
局長 成田勝四郎

外務大臣 殿

占領軍関係者の日本水産物消費について

一、本件に関する第八軍発出の九月六日付サーキユラー第二〇号及ひ九月三十日付サーキユラー第七十一号字別添の通り当地軍団から入手したが、軍団民事部長バーンス大佐は極のような方法で本件を速かに実施しては如何にと述べた。

1. 衛生的条件にパスすること及び一商店の独占でなく数箇の商店の競争が行われること。

2. 衛生的条件にパスするためには民事部の将校が店舗輸送経路

連絡 地方課長

京都連絡調整事務局 附属添付

記帳済

241024 103

通達 済省へ

SEA FOOD PURCHASING TO BE PERMITTED

United Press
TOKYO. Sept. 10--Occupation personnel were advised that they soon will be allowed to buy Japanese seafood at specified Japanese stores whose sanitary precautions have been approved by Army inspectors.

The Army announcement warned, however, that "authority to purchase and consume seafood from an authorized outlet does not mean that the purity of the product is guaranteed."

It emphasized that current prohibition against purchase of other Japanese food products would be continued because of "dangers to health."

Handwritten notes and stamps at the top right, including "10月10日" and "11月10日".

京都連絡調整事務局

陸揚巻等を視察し又駐屯部隊の軍医が店舗を視察すること。
3. コミサリーの近辺で購入に便利な所に二、三軒又は各住宅区域毎に二、三軒の店があること。
二、当方にて京都府水産課に照會したところ、中央よりは本件実施に關し何らの指示がないとのことである。ついでに中央關係各機關の本件実施に關する具体的方法等につき御照會の上大至急御回答ありたい。

本信寫送付先 横彦、近畿各連調

連絡局
地方
神連
神連
神連

神連
神連
神連

昭和二十四年十一月二十二日

神戸連絡調整

局長 田中



外務大臣

吉田 茂 殿

占領軍向販賣店(魚類、果物、野菜店)許可申請
に關する件

本件に關する事項のうち魚類に關する経過については
すでに昭和二十四年十一月十日付執務月報(十月分)第一頁
に記載の通りであるが、さらに本件全般にわたる本年十一
月十九日神戸ベースQM課長(兵辺補給課長)マツゲリゴット
少佐(Maj. Matsumoto)より神戸に左の通り口頭による連絡があ
つたから、御参考までに報告する

神戸連絡調整事務局

現存魚類、果物、野菜小賣店が占領軍向販賣店
として許可を受けようとするものは至急神戸ベース司
令官宛許可願を提出すること

(2) 神戸ベースにおいて許可願を受け下の場合、軍医官が当
該店舗を視察のうえ、占領軍衛生基準に合致すると
認め下場合に限りこれを許可する

(3) 現存設備が不備であるも設備改良のうえ、占領軍
向販賣店として許可を受けようとする場合は、その旨
申請書に附記のうえ、許可申請すること。下設備
改良方法などは、神戸ベース軍医官は何時で
も相談に應ずる

外務省
241128
141

RH'-0008

0320

(4) 右占領軍向販賣店に現在日本人業者に強制するものではなく現存日本人業者の中より占領軍衛生基準に合致したものに占領軍向にも販賣を許可すると言うのが今回の措置の趣であるが、目下のとおり許可の店舗数その他については何らの制限もない。左記特定の申請様式はなから申請業者において適宜申請書を作成すること。

本信字送付先 横浜、京都、近畿 各連絡調整事務局

神戸連絡調整事務局

公 信 案

外 務 省

まで別添送付す

本信送付先 各地方連絡調整事務局長

(別添英文二種を、添付す)

主任		12	1	13
附 属	甲	24	1	25
	乙	24	1	25
	丙			
	丁			
備考		H' / L. O. /		

縣 案

調 整 課 長

文書課 送日 昭和廿五年四月拾日

主 管 連絡局長 次長

主 任 地方課長 西山

連地合第 四二九 号 昭和昭和五年四月八日附 附 属 有

淨書 正校(原稿) 昭 和 25 年 4 月 7 日 起 草

先付送寫 名 人 信 受

各地方連絡調整事務局長

大 臣

名 件 先付送寫

進駐軍之人及び軍需品の日本食料品

消費に關する件

本件に關する三月二十日付總司令部サキエラ

一七号及び四月一日付プレスリリースを御参考

公 信 案

外 務 省

別紙

記帳済

8 18

GENERAL HEADQUARTERS
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
APO 500

控

CIRCULAR) 30 March 1950
NO. ...7)

CONSUMPTION OF JAPANESE FOOD PRODUCTS

1. a. Rescissions.

- (1) Circular 20, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 6 September 1949.
- (2) Paragraph 15, Circular 23, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 13 September 1949.
- (3) Circular 25, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 20 September 1949.
- (4) Circular 28, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 14 December 1949.
- (5) Circular 4, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 6 March 1950.

b. Reference. Circular 23, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, 13 September 1949.

2. The purpose of this circular is to remove restrictions on the consumption of foods produced, processed, or manufactured in Japan.

3. No assurance is given by the Supreme Commander for the Allied Powers that foods produced, processed, or manufactured in Japan are free from impurities, contamination, harmful bacteria, or other hazards to health, or that the standards or conditions of production, processing, or manufacture of such foods

RH'-0008

0323

計	24	部	英 文 二 十 部	和 文 十 四 部	余部ある場合	九	四	中	神	近	二	二	二	二	二
						橋	州	國	國	戸	畿				

◎ (地方) 連絡調整事務局 (十二方所)
 (件名) 進駐軍人及軍属の日本食料品消費に関する件
 昭和三十二年四月七日
 公信送付先表

外交史料館

(12)

GENERAL HEADQUARTERS
FAR EAST COMMAND
Public Information Office

1200
1 April 1950

Press release:

RESTRICTION ON USE OF JAPANESE FOOD LIFTED

Regulations prohibiting consumption of Japanese foods by Occupation personnel have been rescinded, it was disclosed today.

Effective with the publication of Circular 7, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, March 30, it is no longer unlawful for Occupation personnel to purchase and consume locally produced, procured or manufactured foods.

It was pointed out in the circular that no assurance is given by the Supreme Commander for the Allied Powers that available foods are free from hazards to health, or that the standards or conditions of production, processing or manufacture of such foods are either approved or supervised.

There is a continuing program, however, by the Japanese government to improve the sanitary aspects of food production, processing and distribution. As they meet certain requirements, food outlets will be graded by the Japanese government in accordance with their attainments and such grades publicly posted.

Informational publications prepared by Occupation medical authorities have been widely distributed which outline methods of preparation, purification and disinfection of locally procured foods to minimize possible health hazards.

Persons contemplating consumption of locally procured foods are enjoined to familiarize themselves with these methods,

- 2 -

are either approved or supervised. There is a continuing program by the Japanese Government, under supervision of the Public Health and Welfare Section, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, for the purpose of improving the sanitary aspects of food production, processing, and distribution. As they meet certain requirements, food outlets will be graded by the Japanese Government in accordance with their attainments and such grades publicly posted. Consumption of any locally procured foods, however, is attended by definite hazards and is wholly at the risk of the consumer.

4. All persons, prior to consumption of any food produced, processed, or manufactured in Japan, are enjoined to familiarize themselves with proper methods of preparation, purification, or disinfection of such foods as set forth in applicable informational publications obtainable from, or which can be made available by, medical authorities of the occupation forces or the Public Health and Welfare Section, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers. Local occupation force commanders will insure ready availability and wide distribution of these informational publications to all personnel under their jurisdiction.

5. Regulations concerning consumption of foods in Japanese eating establishments are contained in referenced circular and are not affected, revised, or changed by the provisions of this circular. Neither does this circular affect, revise, or change ration controls on foods which may from time to time be imposed by the Supreme Commander for the Allied Powers or the Japanese Government.

AG 430 (10-Mar 50)GA

BY COMMAND OF GENERAL MACARTHUR:

OFFICIAL: EDWARD M. ALMOND,
Major General, General Staff Corps,
K.B. BUSH, Chief of Staff,
Adjutant General, USA,
Adjutant General.

RH'-0008

0324

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

發信用執務用			縣案	調整課長	
主任	12	1			13
附甲	24	1			24
附乙	(初案)				
附丙					
附丁					
備考					

公 信 案	可以 關 總 司 令 部 サ 七 レ 本 サ ノ	本 件 の 送 付 に 關 し て 日 本 食 料 品 購 入 許 可 の 事 に 關 し て 日 本 食 料 品 購 入 許 可 の 事 に 關 し て	件 名 連 合 國 軍 要 員 の 日 本 飲 食 店 利 用 に 關 し て の 事	先 付 送 寫	受 信 人 各 地 方 連 絡 調 整 事 務 局 長	連 地 合 第 四 八 六 号	主 任 主 任 地 方 課 長	昭 和 五 年 四 月 拾 九 日 附 屬	文 書 課 發 送 日 昭 和 五 年 四 月 廿 日	文 書 課 長
									淨 書	正 校 (原 稿)
					發 信 人 大 臣					

- 2 -
and are reminded that consumption of local foods in the Orient has always involved risk on the part of the consumer.

別紙

19 3

RH'-0008

0325

規程は日本飲食店に於ける飲食に關する現行規則
 を改定するものなるが、明令としてきり、依然禁止
 されてゐるものがあるが、今般特に右趣旨を説明した
 總司令部プレスリリースがあらうから、別添送付す
 る。
 本信送付先 各地方連絡調整事務局
 (添付英文そのまゝ送付する)

公 信 案
 外 務 省

(件名)

公信送付先表

◎ (地方) 連絡調整事務局 (二十九カ所)

横 濱 (英文のみ三部)	近 畿 一 部
北 海 道 (英文のみ三部)	神 戸 一 部
京 都 (英文のみ三部)	中 部 一 部
東 海 北 陸 (英文のみ三部)	四 国 一 部
京 都 (英、和各三部)	九 州 一 部
以上各二部	在 留 一 部

計 二十四部

各部ある場合
 和文 十四部
 英文 二十部

昭和二十五年四月七日

控

GENERAL HEADQUARTERS
FAR EAST COMMAND
Public Information Office

1630
6 April 1950

Press release:

NO CHANGE IN EATING ESTABLISHMENT POLICY

Concerning consumption of Japanese foods, Maj. Gen. William A. Beiderlinden, Assistant Chief of Staff, G-1, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, pointed out today that there has been no change in policy as respects occupationaires visiting Japanese eating establishments.

General Beiderlinden stated that present general personnel regulations designate as "off-limits" all Japanese eating establishment, except those specifically approved by the local Occupation Force commander and visibly designated as approved for Occupation Force patronage by appropriate posting.

The relaxed policy on consumption of Japanese foods, announced in Circular 7, General Headquarters, Supreme Commander for the Allied Powers, March 30, pertained primarily to procuring such foods for home preparation and serving or for preparation and serving in Occupation clubs and messes.

RH'-0008

0327

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan